

令和6年度みきっ子未来応援協議会 家庭・地域・学校教育部会議事録

1 期 日

令和7年2月17日（月） 19:00～20:30

2 場 所

教育センター 4階大研修室

3 出席者

(1) 委 員

河原正則部会長、生田哲久副部会長、奥野敬子委員、小紫昭子委員
金鹿功委員、小林誠和委員、桂敦子委員、浅和直子委員
田中啓規委員、

(2) 事務局

山口学校教育課課長、計倉教育センター所長、八幡青少年センター所長、
平田子どもいじめ防止センター長、藤原生涯学習課係長、
林学校教育課主査

4 部会長・副部会長紹介

河原正則部会長、生田哲久副部会長

5 委員自己紹介

6 協議事項

家庭・地域・学校が一体となった人づくりに関すること

(1) 事例及び現状

- ・地域と学校の連携・協働体制推進事業について
- ・青少年の健全育成に係る取組状況について
- ・家庭における子どもたちのウェルビーイングについて

(2) 意見交換

部会長： 事務局の説明についてご意見をお願いしたい。

委員①： 校則等を子どもたち自身で見直す事例は本校でも行っているが、
社会が成熟していないと進まないように感じる。子どもたちがス

マホの学校への持ち込み等を検討したが、保護者は猛反対した。どうして反対されるのかも加味して子どもたち主体に考えていく。幸せを実感する年齢について、成長するにつれ実感が減っていくというデータがあったがその通りであるように感じる。高校生は発達が進んだ段階であり、将来についての不安がその結果を生むように思う。「よく分からないけど不安」という気持ちを吐き出せる場があるとよいように思う。子どもたちの幸せのために10考えて9ダメでも取組を進める価値はあると考える。

委員②： 社会が成熟していくと現在の世界の情勢を見ても分かるとおおり、より困難な課題が出てくるように感じる。価値観が多様化しており自分でも何が良いのか分からなくなっている。社会生活を送る上では、自分自身の感情をコントロールする力が必要である。しかし、我慢をさせすぎると、やりすぎと言われたり虐待として取り上げられたりもする。コントロールする力をつけてあげられないのは逆に残酷なように感じる。

委員③： 自由が丘中学校のコミュニティ・スクールで、地域の保護者が自分の職業を生かして子どもたちに授業するという事例があった。いかに教育的な関わりができるかという観点で、保護者や地域の方の力を借り、勉強の面白さや将来の大人像を見ることのできる大変よい取組であったように思う。

委員④： 学校や社会は時代に応じて進んでいっているが、親のアップデートを促す必要がある。アップデートできていないと新しい考え方で教育等を進めても、親が歯止めになるように思う。教育関係者等であれば、今の時代の考え方を理解できるが、一般の方とは大きくギャップがあるのが現状である。親への啓発等も重要になってくるように思う。

委員⑤： 会社に新しく入社してくる者についても様々な考え方を持つものが増えており、多様性を感じる。

委員⑥： 子ども園において、小学校との交流連携を進めている。小学校1年生と年長さんで交流をしていたのが要因で、発表会の出し物

について子どもたちで考えたところ、小学校生活の劇を発案した。よほど心に残っていたり、ワクワクする気持ちがあることを知り嬉しい気持ちになった。劇を考えていくうちに、さらに小学1年生にアドバイスを求めたり、小学校の生活について尋ねたりする活動ができ、子どもたちの興味から主体的に活動を進めることができた。今回の話の幸せを実感するというところに繋がる部分があるように思った。

委員⑦： スマホは中毒性があり、規制が必要であると思う。数時間使用するとロックされる機能等もあるようである。スマホ等を上手く使いこなす力は本当に必要であるように思う。

委員⑧： 兵庫県内では、青少年の非行防止のための補導委員の確保が難しい自治体が多くなってきている。これは、単に高齢化や人口減のみならず、自治体の予算が削られてしまっているという実情があるようである。教育的なはたらきかけの話があったが、親だけでなく地域の一員として、子ども達にはたらきかけできる人間でありたいし、そういった地域の力も必要である。

たいこの体験イベントを主催したが、若い女性が意欲的に活動してくれた。単に活動するだけでなく、地域の継承行事を見て回り、自分たちで地域を盛り上げようとする姿勢に大変うれしく思った。若い人たちが意欲的に活動できる働きかけやきっかけを与えてあげることが重要であると考えます。

部会長： 家庭・地域・学校が一体となった人づくりに関することについて情報提供いただき、意見交換を行った。各委員とも大変活発にご意見を出していただき、様々な視点から子どもたちのことについて考えることができたように思う。今後もそれぞれの立場で尽力されることを望みます。有難うございました。

7 閉会あいさつ（副部会長）